

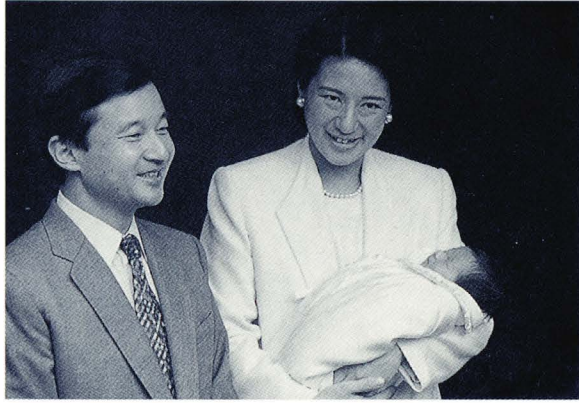


毎月十五日発行 社会 宗像 定価 一年送料共 1000円

奉祝

敬宮愛子内親王殿下御誕生

としのみや あいこ 健やかな御成長をお祈り申し上げます



皇太子殿下は十一月一日午後四時三十分、内親王殿下を無事御出産おぼされた。七日には「命名の儀」が行われ、御名前は「愛子(あいこ)さま、御称号は「敬宮(けいみや)ののみや」さまと発表された。

「命名の儀」は天皇陛下がお子様のお名前と御称号を皇太子殿下に伝えられる儀式で、午前九時五十分皇居・菊の間で天皇陛下が湯淺宮内庁長官に御名前の伝達を命じられ、渡辺待從長が陛下のお使いとして楯の箱に収められた記を東京御所へ届けられた。皇太子殿下が御覧になられた後、名記(皇室女官)によって宮内庁病院へと届けられ、稚子妃殿下が御覧になられた後、敬宮内親王殿下の枕元に置かれた。漢字を三人により男女二案が天皇陛下の元に届けられたが、陛下は皇太子御夫妻の意向を尊重され選定を大幅に委ねられたという。

敬宮内親王殿下の御誕生を奉祝し、今後の健やかな御成長を御祈念申し上げた。平成五年の御成婚以来、国民一同心待ちにしておりました稚子妃殿下の御懐妊の由が告げられたのが五月。七月十日東京御所に於いての「内著帯式」をうけて、当天社では七月十五日に皇太子妃殿下御安産祈願祭を挙行。以来只管に稚子妃殿下の御静穏と御安産を御祈念申し上げてきたが、十一月二十一日午後十一時五分御出産の兆しが見られ、皇太子殿下も付き添いになられ、宮内庁病院に御入院なされ、翌日の一日無事御出産おぼされた。

神具・装束 株式会社 井筒 本社 福岡市博多区東公園一丁目三番四号

木組の家 総合建設業 株式会社 弘江組 事務所 福岡県宗像市大字福元一〇二五

親王殿下の邪気をお祓いし文運と健康をお祈りする「浴湯の儀」が行われた。敬宮内親王殿下は東京女官

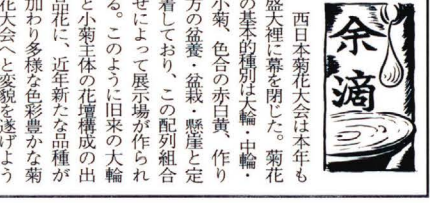
宗像大社の一年

四月、国民の圧倒的な支持を受け小泉内閣総理大臣が誕生、また記憶も生々しいアメリカ合衆国での同時多発テロ事件、そして十二月一日、国民待望の皇孫、敬宮愛子内親王殿下御誕生と、世界史に、また我が国の歴史その足跡を残した平成十三年も思い出に幕を閉じようとしております。

花のような純真な心をもつ皇孫に育ってほしいという、皇太子・同妃両殿下の願いが込められている。何かと暗いニュースの多かった今年、この皇孫殿下御誕生の一報はこれまでの重苦しい雰囲気吹き飛ばし、光明を告げる国民待望の慶事であっただけに、国中が奉祝ムードに包まれ、正に皇室を中心とする我国本来の姿と言えぬ。

大祓式・除夜祭 年の瀬を迎え、皆様方には御多忙の御事と拝察申し上げます。さて、恒例の年越の大祓神事並びに除夜祭につきまして御案内申し上げます。この神事は一年間の心身の罪、穢れを人形に託して祓い除き、清々しい気持ちで新年を迎える儀式です。

余滴 西日本菊花大会は本年も盛大裡に幕を閉じた。菊花の基本的構法は輪・中輪・小菊 色合の赤白黄、作り方の益養・益鼓・懸屋と定着しており、この配列組合せによって展示場が作られる。このように旧来の大輪と小菊主体の花壇構成の出品花に、近年新たな品種が加わり多様な色彩豊かな菊花大会へと変貌を遂げようとしている。



秋季神賑行事

第三十回 秋祭詠歌大会



5千首の中から入選十人、佳作十五人しか選ばれないというのには大変驚いた。そして先生の教子であった中尾裕彰君が三で最年少入選した時、次の年も選ばれた時の話エピソードには会場が大いに盛り上がった。

宗像大社宮司 宗像 小方 玲子
我が病めば食ふよと夫が持ちてくる焦げの匂いのまじる白粥
毎日新聞社 宗像 永富 臻
磯明のあした獲るをみながら浜に集むて潮時を待つ
宗像大社女子会 宗像 上通ヨシノ
相続の放棄の捺印うべなへば百里よりよ遠くなりゆく
玄海町教育委員会 宗像 竹浦 葛明
小春日の女京雛をフェリリ航く飛沫い小き虹を見せつつ
毎日新聞社 遠賀 石田こまよ
発表会あすは迫れば野仏に一札なしつらは笛吹く
宗像 藤井 浩子
ストーブの燃ゆる列車に楽しんでマラー忘れしことに気が付かず
山崎 宗像 池浦千鶴子
ごもる蚕のこくと眠らんか永久に覚めざることをねがひて
江口 宗像 古賀三枝子
我が春を惜しみなく逝くますらをこぞ望むの母は誠誠くせり

三千回を迎えた宗像大社秋祭詠歌大会(主催)宗像大社宮司、後援毎日新聞社が十一月十日(土)当大社清閑殿において、短歌愛好家約百人が参加し開催された。
本年は三千回の記念大会といふこともあり、例年選者を務めていただいている大野展男先生(宗像郡)、江口富子先生(福岡市)、中西輝磨先生(福岡市)、山崎源太郎先生(糸島郡)の四氏に加え、御自身は勿論、御弟を最年少でしかも、年連続で「宮中歌会始」に入選させた久留米市在住の大津留敏先生(おおつる・けい)先生をお迎えして開催された。
御神前に詠草を献する神事、石橋協宜の挨拶の後、「国民参加の歌会始」と題した大津留敏先生に講演をしていただいた。

万葉集から始まる短歌の歴史を奈良時代から現代の宮中歌会まで、現代の伝統文化としてという観点から詳細にお話しいただいた。特に宮中歌会始は毎年二万



福岡県教育委員会 下関 西川 清美 店閉じて久しき雨戸を少しだけ開けば奥へ通る夏風

宗像大社宮司 宗像 小方 玲子
我が病めば食ふよと夫が持ちてくる焦げの匂いのまじる白粥
毎日新聞社 宗像 永富 臻
磯明のあした獲るをみながら浜に集むて潮時を待つ
宗像大社女子会 宗像 上通ヨシノ
相続の放棄の捺印うべなへば百里よりよ遠くなりゆく
玄海町教育委員会 宗像 竹浦 葛明
小春日の女京雛をフェリリ航く飛沫い小き虹を見せつつ
毎日新聞社 遠賀 石田こまよ
発表会あすは迫れば野仏に一札なしつらは笛吹く
宗像 藤井 浩子
ストーブの燃ゆる列車に楽しんでマラー忘れしことに気が付かず
山崎 宗像 池浦千鶴子
ごもる蚕のこくと眠らんか永久に覚めざることをねがひて
江口 宗像 古賀三枝子
我が春を惜しみなく逝くますらをこぞ望むの母は誠誠くせり

朝早く庭の夫は爽やかな響かせて大鏡紙く
宗像 長沼美重子
明日知れぬ輪と思へど来年の大根の種いつか根付居つ
下関 岡田 節子
リウマのかなわぬ指で折りし鶴夫にとどけと笹に結びぬ
春日 井口 容子
わが視野を日毎に建つマンション大野の山は今日より見えぬ
宗像 安部カヅエ
幸せはこんなものかときたの母ふくみて甘きひろがる
宗像 吉田ますみ
来れば墓原に咲く鹿の子百合夫への供華とふゆるにまかす

去る十一月四日菊花大会で賑わった境内に、第十回福岡県相撲選手権記念大会が開催された。
当大相撲場は、昭和の大造営ともいえる昭和四十六年に新築されたもので、その年の十一月には日本相撲協会二所の開設屋の大関大麒麟カチによって土俵開きが盛大に行われた。その後数年は地域の子供会により相撲大会が行われていたが、途絶えがちしていた。今年が約十年ぶりの相撲大会となった。
開催にあたり、一ヶ月位前から福岡県相撲連盟の関係者が傷んだ土俵場、関係者を搬入、俵の取り替え、土俵の整備作業を行い、見事な土俵が出来上がった。

大会の当日は、県内より勝ち抜いてきた小学生までの選手五百五十名が参加し開催された。午前十時、開会式、神輿、選手のお祝いが行われ、代表の嘉穂中、中央高校川上敏、弘君の力強い選手宣誓ののち、熱戦がくりひろげられた。
試合は、小学四年生から六年生がトーナメント、中学生から一般がリーグ戦で行われ、相撲観客、一般参拝多数観戦する中、熱戦は午後一時までつづいた。
成績は次の通りです。

- 小学四年生の部
優勝 佐藤田隼人(粕屋)
準優勝 宮原真太郎(宗像)
三位 鹿子島 健(三井)
- 小学五年生の部
優勝 高橋 宏平(椎田)
準優勝 佐伯 達輝(宗像)
三位 松尾孝次朗(遠賀)
- 小学六年生の部
優勝 河野 昌宏(遠賀)
準優勝 加藤 雄大(宗像)
三位 山下 一幾(三井)
- 中学生の部
優勝 江口 良(柳川)
準優勝 田中 紀行(遠賀)
三位 河野 順洋(遠賀)
- 少年男子個人の部
優勝 川上 敏弘(粕屋)
準優勝 真鍋 繁(朝農)
三位 澤崎 友之(朝農)
- 青年男子個人の部
優勝 中尾 茂幸(北府)
準優勝 利昭(粕屋)
三位 宇高 賢志(福岡)
- 一般男子個人の部
優勝 渡辺 祐二(粕屋)
準優勝 佐伯 鏡香(三井)
三位 高橋 智彦(粕屋)

境内での西日本菊花大会の賑わいの一方で、神室館で二十三日まで、大社所蔵の刀十六振と近隣の愛好家の刀四十振、合計五十六振を展示した「宗像大社刀剣展」が開催され、二千余名の来場者を迎えた。

丹精込めた作品
秋季奉納盆栽展開催
に当たっては、例年鑑賞に求められる参拝者も多く、顔なじみとなり、話はずむこともしばしばあった。

福岡市 佐藤比佐子
ルン島の遺骨六千五百粒
釜蓋地にあれど遺族は知らず
宗像大社教育委員会 宗像 小方 玲子
我が病めば食ふよと夫が持ちてくる焦げの匂いのまじる白粥
毎日新聞社 宗像 永富 臻
磯明のあした獲るをみながら浜に集むて潮時を待つ
宗像大社女子会 宗像 上通ヨシノ
相続の放棄の捺印うべなへば百里よりよ遠くなりゆく
玄海町教育委員会 宗像 竹浦 葛明
小春日の女京雛をフェリリ航く飛沫い小き虹を見せつつ
毎日新聞社 遠賀 石田こまよ
発表会あすは迫れば野仏に一札なしつらは笛吹く
宗像 藤井 浩子
ストーブの燃ゆる列車に楽しんでマラー忘れしことに気が付かず
山崎 宗像 池浦千鶴子
ごもる蚕のこくと眠らんか永久に覚めざることをねがひて
江口 宗像 古賀三枝子
我が春を惜しみなく逝くますらをこぞ望むの母は誠誠くせり

朝早く庭の夫は爽やかな響かせて大鏡紙く
宗像 長沼美重子
明日知れぬ輪と思へど来年の大根の種いつか根付居つ
下関 岡田 節子
リウマのかなわぬ指で折りし鶴夫にとどけと笹に結びぬ
春日 井口 容子
わが視野を日毎に建つマンション大野の山は今日より見えぬ
宗像 安部カヅエ
幸せはこんなものかときたの母ふくみて甘きひろがる
宗像 吉田ますみ
来れば墓原に咲く鹿の子百合夫への供華とふゆるにまかす

去る十一月四日菊花大会で賑わった境内に、第十回福岡県相撲選手権記念大会が開催された。
当大相撲場は、昭和の大造営ともいえる昭和四十六年に新築されたもので、その年の十一月には日本相撲協会二所の開設屋の大関大麒麟カチによって土俵開きが盛大に行われた。その後数年は地域の子供会により相撲大会が行われていたが、途絶えがちしていた。今年が約十年ぶりの相撲大会となった。
開催にあたり、一ヶ月位前から福岡県相撲連盟の関係者が傷んだ土俵場、関係者を搬入、俵の取り替え、土俵の整備作業を行い、見事な土俵が出来上がった。

- 小学四年生の部
優勝 佐藤田隼人(粕屋)
準優勝 宮原真太郎(宗像)
三位 鹿子島 健(三井)
- 小学五年生の部
優勝 高橋 宏平(椎田)
準優勝 佐伯 達輝(宗像)
三位 松尾孝次朗(遠賀)
- 小学六年生の部
優勝 河野 昌宏(遠賀)
準優勝 加藤 雄大(宗像)
三位 山下 一幾(三井)
- 中学生の部
優勝 江口 良(柳川)
準優勝 田中 紀行(遠賀)
三位 河野 順洋(遠賀)
- 少年男子個人の部
優勝 川上 敏弘(粕屋)
準優勝 真鍋 繁(朝農)
三位 澤崎 友之(朝農)
- 青年男子個人の部
優勝 中尾 茂幸(北府)
準優勝 利昭(粕屋)
三位 宇高 賢志(福岡)
- 一般男子個人の部
優勝 渡辺 祐二(粕屋)
準優勝 佐伯 鏡香(三井)
三位 高橋 智彦(粕屋)

境内での西日本菊花大会の賑わいの一方で、神室館で二十三日まで、大社所蔵の刀十六振と近隣の愛好家の刀四十振、合計五十六振を展示した「宗像大社刀剣展」が開催され、二千余名の来場者を迎えた。

丹精込めた作品
秋季奉納盆栽展開催
に当たっては、例年鑑賞に求められる参拝者も多く、顔なじみとなり、話はずむこともしばしばあった。

像市の盆栽愛好家が御祭神の神徳の発揚に務め、併せて会員相互の親睦を期し、日本の伝統と格調高い美を表現して盆栽の普及を目的として、宗像大社奉納盆栽会を結成して以来、今年で二十九回目を迎えた。

宗像大社歌会 俳句作品集(四六)

自由ヶ丘 細川 絹子
とりの餌に庭に落ちたるづ
くし桶

東郷 田中 憲象
畑で飛ぶ甘露の蔓の切れど
うし

日ノ里 花田いつ枝
冬うらら手話で赤る重寶ひ
にけり

東郷 吉武 湧泉
秋天高く浮き動かぬ山の嶺々

東郷 吉田 杏子
道端の草は穂となり秋深む

東郷 三浦美千代
揺れ乍ら根はしっかりと秋
桜

東郷 田中 雨葉
菊人形足の先まで着せられ
て

東郷 木原 房子
篋の裾をつづりて石路の咲
く

福岡 森 清
草もみじ夕日に紅の更に濃
し



厄年について

厄年とは人生の節目であり、厄にあうおそれが多い。為忌み慎まねばならないとする年であります。

数え年で男性は二十五歳(昭和五十二年生)、四十二歳(昭和三十三年生)、六十一歳(昭和十七年生)、女性には三十三歳(昭和五十九年生)、三十九歳(昭和五十五年生)、三十七歳(昭和四十一年生)であり、特に和四十一年生に、男性の四十二歳、女性の三十三歳は大厄とされ、その前後の年も前厄、後厄とし、慎む年とされており、また、さらに細かく分け

ると左記の通りになります。神社で厄年祓の御祈願を受け、この一年を清々しい気持ちでお過ごし下さい。八方塞(はつほうさき)は、五黄(ごわう)の方向に向かっている方向に、良事をしても障りがあり、良

い結果が生れないとされる年。暗剣殺(あんげんざつ)は「九星術」でその年の最悪と相対する方位で、最も慎まねばならないとされる大凶の年。

平成十四年 厄年 年齢表

生まれ年	厄	生まれ年	厄	生まれ年	厄	生まれ年	厄
大正十年	八方塞	昭和二十一年	暗剣殺	昭和四十一年	大厄(女) 八方塞	昭和五十八年	後厄(女)
大正十四年	厄年	昭和二十三年	八方塞	昭和四十四年	後厄(女)	昭和五十九年	大厄(女) 八方塞
昭和三年	暗剣殺	昭和二十六年	厄年	昭和四十五年	大厄(女)	昭和六十年	前厄(女)
昭和五年	八方塞	昭和二十九年	厄年	昭和四十六年	前厄(女)	昭和六十二年	厄年
昭和九年	厄年	昭和三十年	暗剣殺	昭和四十八年	暗剣殺	平成二年	厄年
昭和十二年	暗剣殺	昭和三十二年	八方塞	昭和五十年	八方塞	平成三年	暗剣殺
昭和十四年	八方塞	昭和三十五年	後厄(男)	昭和五十二年	後厄(男)	平成五年	八方塞
昭和十六年	後厄(男)	昭和三十七年	大厄(男)	昭和五十四年	大厄(男)	平成八年	厄年
昭和十七年	大厄(男)	昭和三十八年	前厄(男)	昭和五十六年	前厄(男)	平成十一年	厄年
昭和十八年	前厄(男)	昭和三十九年	厄年	昭和五十七年	厄年	平成十二年	暗剣殺
昭和二十年	厄年	昭和三十九年	暗剣殺	昭和五十七年	暗剣殺	平成十四年	八方塞

話題の車紹介 スズキ「クルーズ」

今回、皆様にご紹介する車は、スズキとGMの共同開発モデル「CRUZE(クルーズ)」です。ワゴンR等のコンパクトカー開発を得意とする当社と、デザインエンジニアリングに独特のノウハウを持つGMが共同開発し、三月初のアメリカンSUVを、シボレーの名を冠して発表しました。

1、デザイン
CRUZEのデザインコンセプトは、スポーティー&タフネス。力強いフロントマスクや大径二五インチタイヤとオーバハウンダーにより、その走破性を予感

させてくれます。またリヤビューは、シボレー独特のデザインにより斬新かつ個性的なものになっています。

2、性能
エンジンは、スズキの次世代オールアルミDOHC M13A型を搭載。クラストップレベルの力強さながら、VVTだから低燃費で地球にも優しく、「優」低排出ガス車に認定。

3、走行性
SUVの重要な要素である走行性の向上に対して、



新開発本格4WDシステム電子制御カッティングII E M C Dを採用。あらゆる状況に応じて最適なトルクを E M C D が後輪へ伝達することにより、走破性と燃費の向上にも役立つ新システムです。三つのモード「ト・F・H」はスイッチ操作で素早く使い分けられます。

更に、足廻りにはGMのチューンサスペンションを搭載し、タイヤも一五インチ大径タイヤを装備することで、一九五ミリの最低地上高を実現。悪道も楽々くっつけられます。

4、インテリア
広く快適。それがシティSUVに求められる車内空間。疲れにくい専用大型フロントシートや運転や乗降が楽なシート高。クラスを超えた静粛性もコンパクトライク快適にしてくれます。

5、安全性
事故を未然に防ぐEBD

付ABSを装備、「万が一」の時は、SRSエアバックがフロントシートベルトのプリテンションナー及びフォアシートと連動して作動します。ボディも軽量衝突吸収ボディ(TECT)で、オフセット前面衝突に対応して安全面でもクラストップレベル。

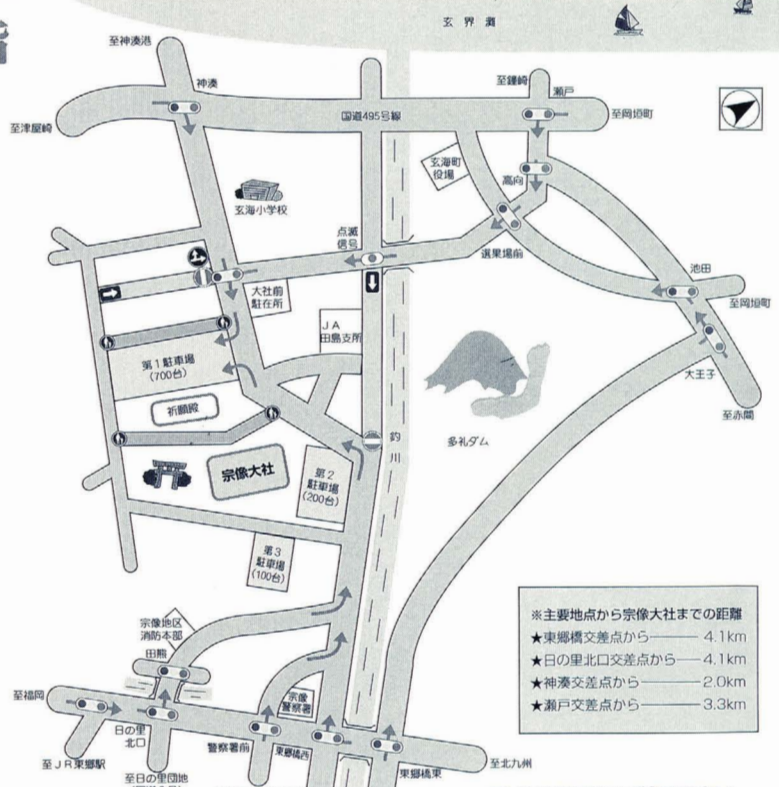
お問合せ先
(株)スズキ自販福岡
宗像営業所
宗像郡福岡町中央一十一
十四
☎0940141111

宗像大社初詣 交通安全 交通規制のお知らせ

- 期間**
- 平成 13 年 12 月 31 日
午後 9 時から
平成 14 年 1 月 1 日
午後 9 時まで
 - 平成 14 年 1 月 2 日～1 月 6 日
午前 9 時から午後 7 時まで
- ※交通状況により、規制時間を変更することがあります。

宗像大社の初詣期間中、交通の安全と円滑を図るため、臨時交通規制を実施します。みなさんのご協力を御願います。

凡 例	年 末 年 始 祭 典
← 宗像大社順路	12月31日 15:00 大 歳 式 引き続き 除 夜 祭
→ 一方通行	1月1日 7:00 総 社 地 主 祭
歩行者用道路	9:00 元 富 貴 地 主 祭
車両進入禁止	引き続き 高 富 貴
交通信号機	1月2日 9:00 第二・第三宮祭
駐車場	1月3日 新年二日祭 新年三日祭



- 高齢者の交通事故防止
- 飲酒運転の追放
- シートベルトの着用の徹底及びチャイルドシートの着用促進